



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(平成29年8月～10月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyosjohas.go.jp>

## ◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
8月2日(水) 14:00～16:00	<b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b> 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・ 専門2	70
8月3日(木) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度と産業保健</b> 産業医をめぐる法規制の動向とともに、ストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・ 更新2	70
8月10日(木) 14:00～16:00	<b>事業場における治療と職業生活の両立支援</b> がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行うに産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 専門2	70
8月21日(月) 14:00～16:00	<b>労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点</b> 過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。	飯島 正三	生涯・ 専門2	70
8月25日(金) 13:30～16:30	<b>作業環境測定方法</b> 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
8月28日(月) 14:00～16:00	<b>職場復帰支援のあり方</b> 職場復帰支援の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・ 専門2	70
8月29日(火) 14:00～16:00	<b>事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理</b> 各種産業分野の国際化に伴い、海外勤務者の数が増加している。特に近年は、海外出張を繰り返す形で海外事業を運営する企業が増加しており、海外出張者の健康管理の重要性が高まっている。 今回の研修では、海外駐在者および海外出張者の事例を提示し、その事例の健康管理方法についてグループワークを行いながら、海外勤務者への適切な健康対応を学んでいく。	濱田 篤郎	生涯・ 実地2	40
8月30日(水) 14:00～16:00	<b>長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施方法について</b> 厚生労働省が作成した『高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル』の活用と医師面談における法的リスクの回避について解説します。	梶川 清	生涯・ 更新2	70

9月1日(金) 14:00～16:00	<b>健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～</b> 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的にした研修です。	竹田 透	生涯・実地1 生涯・更新1	40
9月5日(火) 14:00～16:00	<b>これからの職域健康診断</b> 平成28年度に厚生労働省は「定期健康診断等のあり方に関する検討会」を設置して、労働安全衛生法に基づく定期健康診断の見直しを行いました。本研修では、検討会における検討結果を概説し、今後の職域健康診断のあり方について解説します。	山口 直人	生涯・専門2	70
9月7日(木) 14:00～16:00	<b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b> 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・専門2	70
9月12日(火) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度と産業保健</b> 産業医をめぐる法規制の動向とともに、ストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70
9月14日(木) 14:00～16:00	<b>事例検討～産業医としてどう対応するか～</b> 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・実地2	40
9月20日(水) 14:00～16:00	<b>職場のメンタルヘルスにおける依存症</b> 人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	70
9月25日(月) 13:30～16:30	<b>作業環境測定方法</b> 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
9月27日(水) 14:00～16:00	<b>長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施方法について</b> 厚生労働省が作成した『高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル』の活用と医師面談における法的リスクの回避について解説します。	梶川 清	生涯・更新2	70
10月10日(火) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度のあらましと、長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導の実施に関する研修</b> 改正労働安全衛生法により平成27年12月1日に施行された「ストレスチェック制度」では、一定の条件を満たす労働者に対し医師による面接指導を実施することが事業者には義務付けられています。 本研修ではストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	土屋 譲	生涯・更新2	70
10月12日(木) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度と産業保健</b> 産業医をめぐる法規制の動向とともに、ストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70

<p>10月13日(金) 14:00～16:00</p>	<p><b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b></p> <p>大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心と呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。</p> <p>過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。</p> <p>労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>
<p>10月16日(月) 14:00～16:00</p>	<p><b>産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～</b></p> <p>対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。</p>	<p>角田 透</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>
<p>10月17日(火) 14:00～16:00</p>	<p><b>産業保健と法⑧～健康情報の取扱い～</b></p> <p>今般のストレスチェック制度の施行により、健康情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、健康情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。</p>	<p>弁護士 西園寺 直之</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>
<p>10月20日(金) 14:00～16:00</p>	<p><b>業務上疾病の労災補償</b></p> <p>業務上疾病として確立した疾病が順次、労働基準法施行規則のリストに追加規定されており、追加の背景や疾病の内容とともに、労災認定の基本的な考え方、脳・心臓疾患の認定基準なども解説します。</p>	<p>石井 義脩</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
8月1日(火) 14:00～16:00	<b>「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を踏まえた健康管理</b> 平成28年2月に、厚生労働省は「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を公表しました。 そこで、ガイドラインが公表されることとなった背景やガイドラインの内容、および両立支援の意義を理解し、健康管理の充実に取組むことが健康経営の実現、組織としての社会的責任を果たすこと等につながるを見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 美世子	単位なし	30
8月4日(金) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度について～1回目の振り返り、今後の課題をみつけよう～</b> 初めてのストレスチェック制度はいかがでしたか。集団ごとの集計・分析、職場環境改善の実施まで進みましたか。高ストレス者選定、面接指導対応などは…。PDCAサイクルのように、実施を振り返りながら、今後の対応方法を一緒に考えてみませんか。新たな産業保健関係助成金の活用も視野に入れていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
8月7日(月) 14:00～16:00	<b>精神障害の労災認定基準について</b> 精神障害の労災認定基準の説明をします。 最近まで労働基準監督署で労災認定の実務に従事してきた方を講師に、認定事務の実際と監督署の取扱いについて説明し、質疑にお答えします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	元東京労働局労 災補償課勤務 西平 勝己 古山 善一	単位なし	30
8月8日(火) 14:00～16:00	<b>産業保健と法(10)～健康情報の取扱い～</b> 今般のストレスチェック制度の施行により、健康情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、健康情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
8月22日(火) 14:00～16:00	<b>積極的傾聴法の実践～部下からの相談への対応や職場改善に有効な技法の習得～</b> 産業保健スタッフ等や管理監督者が話を聴く技術を身につけることは、メンタルヘルス不調者への相談対応はもちろんのこと、職場のコミュニケーションを良好にして部下の能力を最大限に発揮させるためにも有効です。 本講座では、話を聴く基本姿勢や技法を学び、積極的傾聴のワークをとおして話を聴く技術の向上を目指します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 田中 恵子 古山 善一	単位なし	15
8月23日(水) 14:00～16:00	<b>労働衛生管理の基礎と事例～過重労働と長時間労働対策とメンタルヘルス不調者の早期把握について～</b> 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における過重労働と長時間労働対策とメンタルヘルス不調者の早期把握について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
8月24日(木) 14:00～16:00	<b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b> 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
9月6日(水) 14:00～16:00	<b>治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～意義、留意事項及び進め方～</b> 治療技術の進歩により、仕事をしながら疾病の治療を続けることが可能になってきました。治療と職業生活の両立に悩む事業場が少なくないという実情にあります。両立支援を進めることにより、従業員が培った知識・経験・ノウハウを維持することが出来ます。また、他の従業員も安心して働くことが出来ます。「治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の意義、留意事項及び就業上の措置や治療に対する配慮について、また、「働き方改革実行計画」における位置付けなどの最新の状況について説明します。次に、事業場における両立支援の取り組み状況について、グループごとに情報交換を行い、今後のより良い取り組みに向けたヒントをつかむことを目指します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	30

9月8日(金) 13:30～16:30	<b>職場の喫煙環境対策の進め方・労働衛生保護具の選定について ～測定機器の操作・測定実習～</b> 職場の喫煙環境対策のために「デジタル粉じん計」や「スモークテスター」等の測定機器を用いた測定実習や防塵、防毒マスクを使用したマスクテスターによる実習、耳栓チェッカーを使用した騒音実習等を行います。	市川 英一	単位なし	30
9月15日(金) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度について～1回目の振り返り、今後の課題をみつけよう～</b> 初めてのストレスチェック制度はいかがでしたか。集団ごとの集計・分析、職場環境改善の実施まで進みましたか。高ストレス者選定、面接指導対応などは…。PDCAサイクルのように、実施を振り返りながら、今後の対応方法を一緒に考えてみませんか。新たな産業保健関係助成金の活用も視野に入れていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
9月19日(火) 14:00～16:00	<b>グループワークを取り入れる対話型ラインケア研修の進め方</b> 事業場内メンタルヘルス推進担当者(産業保健スタッフ、人事労務担当者等)が、管理監督者に対してラインケア研修を実施する際に、講義に加えてグループワークなど行うと、参加者が自分の問題として捉えやすくなるので、自発的な行動を促す効果が期待できます。本講座では、一般的なラインケア研修の内容を確認するとともに、実際にグループワークを行いより効果的な研修の進め方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 田中 恵子 古山 善一	単位なし	15
9月22日(金) 14:00～16:00	<b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b> 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
9月26日(火) 14:00～16:00	<b>労働衛生管理の基礎と事例 ～安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について～</b> 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
10月3日(火) 14:00～16:00	<b>実践(戦)的職場復帰支援～働き続けられる職場の理解、両立支援を視野に～</b> 職場復帰への支援はまだまだ欠かすことのできない実態です。休業することはなかなか致し方ない状況ではありますが、決して無駄でない休業期間ともいえます。復帰後の再発しない、働き続けることのできる事が大切です。さらには「治療と職業生活の両立支援」のガイドラインもできました。その辺も含めて事例を通して職場復帰・両立支援をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
10月5日(木) 14:00～16:00	<b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	30

10月11日(水) 14:00~16:00	<p><b>働く人のメンタルヘルス最前線⑭</b> ～法に基づくストレスチェック制度実践編(職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方)～</p> <p>事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例もご紹介いたします。</p> <p>その他、今年から始まった経済産業省が推し進めている、労働者の健康作りに力を入れる「健康経営」に取り組む中小企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」(2017年度は、大企業236法人、中小企業95法人が認定)についても、詳しく解説いたします。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。</p> <p>※研修の内容は前回開催(平成29年7月18日)とはほぼ同じ内容です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	30
10月18日(水) 14:00~16:00	<p><b>事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン</b> ～その理解と実践の第一歩～</p> <p>医学の進歩により、がんをはじめ各種疾病の治療をしながら働くことが可能になっていますが、現実には職場の理解や支援が受けられないために治療と職業生活の両立をあきらめている人が多いのが現状です。よって、企業にとって治療と職場生活の両立支援(以下「両立支援」という。)は「健康経営」や「社会的責任」等の観点から見て推進されるべき取組と言えます。</p> <p>また、少子高齢化による本格的な労働力不足時代を迎えようとしている日本では、今後は「病気になる前からと言って、貴重な戦力をむざむざ離職させ手放す」というようなぜいたくは許されなくなっていくでしょう。そういう意味でも「両立支援」は各企業にとって推進すべき重要な課題と言えます。</p> <p>今まで両立支援に取り組んでいなかったり、取り組んでいてもその場限りの取り組みに終わっていた企業の皆様、両立支援とはどのようなことなのか、取りあえずの第一歩として表題のガイドラインをもとに、両立支援に対する理解を深めていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	単位なし	30
10月19日(木) 14:00~16:00	<p><b>交流分析入門</b></p> <p>職場を暗くするコミュニケーショントラブル、パワハラ、いじめ・・・は、交流分析心理学のディスカウント(存在を認めない)で、その深層心理や構造が分かります。健康な職場、気持ちの良い人間関係、自律の人材・管理職に変える決め手は、ストローク(存在を認める)です。</p> <p>人材アセスメント研修や人事考課者訓練を通じて一般社員を「できる管理職」に磨いてきた講師が、交流分析を用いて人材の磨き方をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	日本交流分析協会 川合 由美子 古山 善一	単位なし	30
10月23日(月) 14:00~16:00	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例</b> ～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	20
10月24日(火) 14:00~16:00	<p><b>パワハラ未然防止に役立つコミュニケーション研修</b></p> <p>「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」の企業調査において、パワハラに関連する相談がある職場に共通する特徴として「上司と部下のコミュニケーションが少ない職場」を挙げる企業が多くありました。</p> <p>本講座ではパワハラの基本的な理解と、パワハラ未然防止に役立つ日頃のコミュニケーションの取り方やパワハラにならない伝え方について実習を通して学びます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	産業カウンセラー 田中 恵子 古山 善一	単位なし	15
10月27日(金) 14:00~16:30	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつかないほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年7月14日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	単位なし	30
10月30日(月) 14:00~16:00	<p><b>ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方</b></p> <p>企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	梶川 清	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
8月1日(火) 14:00～16:00	<p><b>「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を踏まえた健康管理</b></p> <p>平成28年2月に、厚生労働省は「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を公表しました。そこで、ガイドラインが公表されることとなった背景やガイドラインの内容、および両立支援の意義を理解し、健康管理の充実に取組むことが健康経営の実現、組織としての社会的責任を果たすこと等につながることを見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	飯島 美世子	40
8月4日(金) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度について～1回目の振り返り、今後の課題をみつけよう～</b></p> <p>初めてのストレスチェック制度はいかがでしたか。集団ごとの集計・分析、職場環境改善の実施まで進みましたか。高ストレス者選定、面接指導対応などは…。PDCAサイクルのように、実施を振り返りながら、今後の対応方法を一緒に考えてみませんか。新たな産業保健関係助成金の活用も視野に入れていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	40
8月7日(月) 14:00～16:00	<p><b>精神障害の労災認定基準について</b></p> <p>精神障害の労災認定基準の説明をします。最近まで労働基準監督署で労災認定の実務に従事してきた方を講師に、認定事務の実際と監督署の取扱いについて説明し、質疑にお答えします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	元東京労働局労災補償課勤務 西平 勝己 古山 善一	40
8月8日(火) 14:00～16:00	<p><b>産業保健と法(10)～健康情報の取扱い～</b></p> <p>今般のストレスチェック制度の施行により、健康情報の取扱いがより煩雑になったと言われていています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、健康情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	弁護士 西園寺 直之	40
8月22日(火) 14:00～16:00	<p><b>積極的傾聴法の実践～部下からの相談への対応や職場改善に有効な技法の習得～</b></p> <p>産業保健スタッフ等や管理監督者が話を聴く技術を身につけることは、メンタルヘルス不調者への相談対応はもちろんのこと、職場のコミュニケーションを良好にして部下の能力を最大限に発揮させるためにも有効です。本講座では、話を聴く基本姿勢や技法を学び、積極的傾聴のワークをとおして話を聴く技術の向上を目指します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	産業カウンセラー 田中 恵子 古山 善一	15
8月23日(水) 14:00～16:00	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～過重労働と長時間労働対策とメンタルヘルス不調者の早期把握について～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における過重労働と長時間労働対策とメンタルヘルス不調者の早期把握について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50
8月24日(木) 14:00～16:00	<p><b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b></p> <p>大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	40
9月4日(月) 14:00～16:30	<p><b>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために～治療と就労のバランスを支えるヒント～</b></p> <p>今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。</p>	錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	30

9月6日(水) 14:00～16:00	<b>治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～意義、留意事項及び進め方～</b> 治療技術の進歩により、仕事をしながら疾病の治療を続けることが可能になってきました。治療と職業生活の両立に悩む事業場が少なくないという実情にあります。両立支援を進めることにより、従業員が培った知識・経験・ノウハウを維持することが出来ます。また、他の従業員も安心して働くことが出来ます。「治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の意義、留意事項及び就業上の措置や治療に対する配慮について、また、「働き方改革実行計画」における位置付けなどの最新の状況について説明します。次に、事業場における両立支援の取り組み状況について、グループごとに情報交換を行い、今後のより良い取り組みに向けたヒントをつかむことを目指します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	40
9月11日(月) 14:00～16:00	<b>小規模事業場メンタルヘルス担当者のための研修～ラインケアも含めて～</b> 50人未満の事業場では、ストレスチェック制度の実施は努力目標となりましたが、職場におけるメンタルヘルス推進については、今後、ストレスチェック実施をすることが契機となることと予測されます。また、電話相談では、小規模ゆえに、大規模事業場とは同じように動けないとのメンタルヘルス担当者の声がかかれます。そこで、小規模事業場ゆえの特性を確認しながら、有効なメンタルヘルスのあり方を説明していきます。	松井 知子	70
9月15日(金) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度について～1回目の振り返り、今後の課題をみつけよう～</b> 初めてのストレスチェック制度はいかがでしたか。集団ごとの集計・分析、職場環境改善の実施まで進みましたか。高ストレス者選定、面接指導対応などは…。PDCAサイクルのように、実施を振り返りながら、今後の対応方法を一緒に考えてみませんか。新たな産業保健関係助成金の活用も視野に入れていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
9月19日(火) 14:00～16:00	<b>グループワークを取り入れる対話型ラインケア研修の進め方</b> 事業場内メンタルヘルス推進担当者(産業保健スタッフ、人事労務担当者等)が、管理監督者に対してラインケア研修を実施する際に、講義に加えてグループワークなど行うと、参加者が自分の問題として捉えやすくなるので、自発的な行動を促す効果が期待できます。本講座では、一般的なラインケア研修の内容を確認するとともに、実際にグループワークを行いより効果的な研修の進め方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 田中 恵子 古山 善一	15
9月22日(金) 14:00～16:00	<b>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</b> 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
9月26日(火) 14:00～16:00	<b>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について～</b> 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
10月3日(火) 14:00～16:00	<b>実践(戦)的職場復帰支援～働き続けられる職場の理解、両立支援を視野に～</b> 職場復帰への支援はまだまだ欠かすことのできない実態です。休業することはなかなか致し方ない状況ではありますが、決して無駄でない休業期間ともいえます。復帰後の再発しない、働き続けることのできる事が大切です。さらには「治療と職業生活の両立支援」のガイドラインもできました。その辺も含めて事例を通して職場復帰・両立支援をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
10月5日(木) 14:00～16:00	<b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	40



10月11日(水) 14:00～16:00	<p><b>働く人のメンタルヘルス最前線⑭～法に基づくストレスチェック制度実践編(職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方)～</b></p> <p>事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例もご紹介いたします。</p> <p>その他、今年から始まった経済産業省が推し進めている、労働者の健康作りを力を入れる「健康経営」に取り組む中小企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」(2017年度は、大企業236法人、中小企業95法人が認定)についても、詳しく解説いたします。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。</p> <p>※研修の内容は前回開催(平成29年7月18日)とほぼ同じ内容です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」事務局 局長 石見 忠士	40
10月18日(水) 14:00～16:00	<p><b>事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～その理解と実践の第一歩～</b></p> <p>医学の進歩により、がんをはじめ各種疾病の治療をしながら働くことが可能になっていますが、現実には職場の理解や支援が受けられないために治療と職業生活の両立をあきらめている人が多いのが現状です。よって、企業にとって治療と職場生活の両立支援(以下「両立支援」という。)は「健康経営」や「社会的責任」等の観点から見て推進されるべき取組と言えます。</p> <p>また、少子高齢化による本格的な労働力不足時代を迎えようとしている日本では、今後は「病気になる前からと言って、貴重な戦力をむざむざ離職させ手放す」というようなぜいたくは許されなくなっていくでしょう。そういう意味でも「両立支援」は各企業にとって推進すべき重要な課題と言えます。</p> <p>今まで両立支援に取り組んでいなかったり、取り組んでいてもその場限りの取り組みに終わっていた企業の皆様、両立支援とはどのようなことなのか、取りあえずの第一歩として表題のガイドラインをもとに、両立支援に対する理解を深めていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	40
10月19日(木) 14:00～16:00	<p><b>交流分析入門</b></p> <p>職場を暗くするコミュニケーショントラブル、パワハラ、いじめ・・・は、交流分析心理学のディスカウント(存在を認めない)で、その深層心理や構造が分かります。健康な職場、気持ちの良い人間関係、自律の人材・管理職に変える決め手は、ストローク(存在を認める)です。</p> <p>人材アセスメント研修や人事考課者訓練を通じて一般社員を「できる管理職」に磨いてきた講師が、交流分析を用いて人材の磨き方をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	日本交流分析協会 川合 由美子 古山 善一	40
10月23日(月) 14:00～16:00	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について「聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50
10月24日(火) 14:00～16:00	<p><b>パワハラ未然防止に役立つコミュニケーション研修</b></p> <p>「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」の企業調査において、パワハラに関連する相談がある職場に共通する特徴として「上司と部下のコミュニケーションが少ない職場」を挙げる企業が多くありました。</p> <p>本講座ではパワハラの基本的な理解と、パワハラ未然防止に役立つ日頃のコミュニケーションの取り方やパワハラにならない伝え方について実習を通して学びます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	産業カウンセラー 田中 恵子 古山 善一	15
10月27日(金) 14:00～16:30	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあうべきか、コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年7月14日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	40
10月30日(月) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方</b></p> <p>企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	梶川 清	40